

No.426

鉱山で見つかる美しい鉱物

水晶^{すいしょう}やルビー、あるいはダイヤモンドなど美しくかがやく鉱物^{こうぶつ}は、手にしたりながめたりする喜びを与えてくれるものです。美しくキラキラとかがやく鉱物が好きだという方は多いでしょう。このような鉱物は、一体どのような場所で見つかるのでしょうか？

鉱物の産地としてまずあげられるのが、「鉱山^{こうざん}」です。鉱山とは、金属^{きんぞく}のもとを含んだ石^{こうせき}（鉱石）をくだき、そこから金属を取り出す工場のような場所です。県内には松倉金山^{まつくらきんざん}（魚津市）や下田金山^{げだきんざん}（上市町）など、かつて金や銀、亜鉛などを採取していた鉱山がいくつかありました。何十年も前に閉山^{へいざん}となり、鉱山の跡はほとんどわからなくなっていますが、今でも鉱山跡の近くを流れる川で稀に砂金^{まれ}が見つかったりすることがあります。また近県で有名な鉱山の一つに、岐阜県飛騨市^{ひだ}の「神岡鉱山^{かみおかこうざん}」があります。神岡鉱山は2001年まで鉛^{なまり}や亜鉛^{あえん}を採掘^{さいくつ}していた大規模な鉱山^{きぼ}ですが、採掘^{さい}の際に美しい鉱物がたくさん見つかり、国内を代表する鉱物の産地としても有名です。神岡鉱山でみられる代表的な鉱物は、「方解石^{ほうかいせき}」「閃亜鉛鉱^{せんあえんこう}」「方鉛鉱^{ほうえんこう}」「水晶^{すいしょう}」です。同じ鉱物でも、大きさや結晶の形は様々に成長します。またそのような千姿万態^{せんしばんたい}の鉱物が組み合わせることによって、華麗^{かれい}な鉱物の世界が生まれます。

鉱山で見つかる美しい鉱物も、残念ながら鉱山の関係者以外はなかなか目にする機会はありません。博物館では9月21日（土）から12月1日（日）まで、神岡鉱山で採れた大変美しい鉱物標本約45点を展示します。期間中のみの展示となりますので、ぜひご覧ください。

（増渕佳子）

